

令和5年度(2023年度)

東京富士大学大学院 経営学研究科

一般入学試験 I 期

論 文

<注意>

1. この冊子には、問題文(2枚)が綴じてあります。
2. 試験開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
3. 問題用紙・解答用紙の表紙にある受験番号、氏名欄を必ず記入下さい。
4. 解答は「横書き」「日本語」で記入のこと。
5. 原則として、この冊子は交換しませんので、注意して扱ってください。
6. 試験終了後、この冊子と解答用紙の両方を回収します。

受験番号	氏名

次の問題1から8の中から2問を選択し所定の用紙(400字)に解答してください。
また、選択した問題番号を○で囲んでください。

問題1. ファスト・ファッション事業を展開している ZARA、H&M、GAP や UNIQLO など
は「□□の経済」を活用して成功を遂げた事例といえる。以下の(1)と(2)に答えて
ください。

(1) 上記の空欄(「□□の経済」)に入るものとして最も適切なものを下記の選択肢
の中から一つ選びなさい(※選択肢の番号を解答用紙に記入してください)
選択肢: 1. 組織 2. 規模 3. 速度 4. 範囲

(2) 上記の(1)で選択した「□□の経済」とはどのような意味か簡潔に説明した上
で、「□□の経済」を活用することで、企業はどのようなメリットを享受するこ
とが可能になると考えられるか、700字程度で可能な限り具体的に記述しなさい。

問題2. アンゾフは製品・市場という軸を設定し、企業が選択すべき事業戦略を4つ
のマトリックスで提示した成長ベクトルモデルを提示している。それぞれ4つの戦略
について説明して下さい。また、アンゾフの成長マトリックスを活用する時に、留意
する点があれば説明してください。

問題3. サービス経営の特性について説明してください。

問題4. 近年、ESG (Environment・Social・Governance) 投資への関心がますます高
まっています。ESG 投資とはどのようなものか、そして企業がなぜ ESG 投資を意識す
る必要があるのかなるべく具体的に説明してください。

問題5. 法人税法上の所得金額は、実務上どのように算出されるのか説明してください。(必要に応じて法人税法の規定を引用すること)。

問題6. 役員報酬及び賞与については、会社法の制定、企業会計基準委員会「役員賞与に関する会計基準」(平成17年11月29日)の公表を受け、平成18年度改正により税務上の取扱いを見直しましたが、その改正の概要及びその趣旨について説明してください。

(参照条文) 法人税法

(役員給与の損金不算入)

第34条 内国法人がその役員に対して支給する給与(退職給与で業績連動給与に該当しないもの、使用人としての職務を有する役員に対して支給する当該職務に対するもの及び第三項の規定の適用があるものを除く。以下この項において同じ。)のうち次に掲げる給与のいずれにも該当しないものの額は、その内国法人の各事業年度の所得の金額の計算上、損金の額に算入しない。(以下略)

問題7. 「固定資産の減損に係る会計基準」における減損損失の認識・測定方法を説明した上で、減損と減価償却の異同について答えてください。

問題8. 企業会計基準第29号『収益認識に関する会計基準』における収益認識方法を説明した上で、伝統的な会計における収益認識方法との異同について答えてください。